

—核兵器禁止条約の早期発効を—



5月28日火曜日、すさみ町の国民平和大行進の集会です。集会前、町長室と議会事務局を西牟婁原水協檜山さん、すさみ原水協の加藤さん、県事務局で訪問、ペナントと協賛金を受取ました。又、「被爆者募金箱」設置も快く協力頂きました。強い雨の為、出発集会は、役場の隣のすさみ町総合センターで開催する事に。集会は、すさみ原水協代表塩谷福夫さんの挨拶で始まります。次に、すさみ町の岩田勉町長より「原水爆被爆から半世紀。核兵器の廃絶は人類最後の課題」との挨拶を頂きました。岡本克敏議長は、「世界は核の脅威に曝されている。核兵器廃絶の運動が世界へ広がって欲しい。すさみ町でも努力していく」と挨拶されました。町の職員14、5名が参加されています。わかやま市民生協永野良祐さんが決意表明。最後、地元原水協事務局の加藤元昭さんが「58年前の第6回世界大会に参加した事。平和行進が一人の一步から始まった事。すさみ町での核廃絶の取り組みを報告しました。最後、集会宣言を採択し、「原爆許すまじ」を歌い集会を閉じました。被爆者集会の参加者40人。平和行進は、強い雨の為、取り止めとなりました。今日は、上富田町の平和行進です。

原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会事務局